

兵庫県立がんセンター

婦人科

指導担当医（役職）

山口 聡（副院長・緩和ケアセンター長・婦人科部長）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

婦人科の主治医団の一員として診療に参加します。数人の患者を受け持ち、毎日、医療面接と身体診察を行います。担当患者についてカンファレンスで口頭プレゼンテーションを行い、指導医とディスカッションをします。婦人科腫瘍の最先端のがん治療、手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアのすべてを見学し学習することができます。

具体的な実習内容については、初日に個人の希望をお聞きし個別に設定します。（手術手技の練習、内診やエコー検査の練習、化学療法のマネージメント、放射線治療の実際、緩和ケアでは終末期患者への対応、など。）医療現場で医療面接と診察手技の向上を図り、卒業時OSCEへの対応力を高めることを目指します。

実習スケジュール 2週間コース

1. 主治医団としての実習：毎朝、担当症例を診察し、病状を把握する。
 - ① 指導医と毎日回診（※時間を毎日確認すること）する。
 - ② 検査、治療、手術、ICにも同行する。
 - ③ カンファレンスでは担当患者の問題点をプレゼンテーション。
2. 症例カンファレンス（火曜8：00、水曜17：00から）放射線治療科との合同カンファレンス。
3. カルテ記載や患者問診の練習、手術手技の練習など

4. 化学療法センター、放射線治療科の見学
5. 外来見学・および初診外来の問診
6. 内診・エコー検査は随時見学可能。

学生へのメッセージ

- ・当院は産婦人科の中でも婦人科腫瘍・主にがん診療を中心に実地臨床を学ぶことができます。将来産婦人科を志望される方で特に婦人科がんに興味がある方には最適な研修ができると思います。
- ・当科は婦人科がんの症例が非常に多く、2020年度の日本産科婦人科学会腫瘍統計では子宮頸がん127例（全国2位）、子宮体がん132例（全国3位）、卵巣がん67例（全国7位）となっています。
- ・がん患者は残念ながら全員治すことはできません。がんの終末期にはどのように患者さんに寄り添い、緩和医療を行うか、多職種チーム医療におけるコミュニケーションスキルも学んでください。
- ・将来、産婦人科を考えている学生の進路相談にもものります。お気軽に相談してください。